

社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会

第5次地域福祉活動計画 後期計画

概要版

2026.4 - 2029.3

第5次地域福祉活動計画とは

「地域福祉活動計画」は、**市民の皆さんが主体となって活動を行うための「住民参加型計画」**です。市民、自治会・住宅管理組合、ボランティア・市民活動団体、社会福祉法人、民間事業所、福祉関係機関など様々な主体と多摩市社協とが相互に連携・協働して、地域の課題解決に取り組むための道筋を示したものです。
多摩市と連携して進めるために、**多摩市地域福祉計画と合わせて策定**しています。

地域を「層」に分けて取り組みます

隣近所や自治会・住宅管理組合など、市民に最も身近な活動から、全市的な活動まで、取り組み内容によって活動の範囲を変え、福祉的な支援を必要とする人を**重層的に支えることができる地域づくり**が重要です。また、地域の暮らしにおけるニーズが多様化する中、市民の支えあいによる「互助」を進めることが効果的な問題解決につながります。

○多摩市の地域福祉における4つの層



地域の中で支援が必要な人

市民同士の支えあい

- ・見守り
- ・ちょっとした手助け

行政や民間事業者
などの連携による
サービス

ボランティア

【第4層】

隣近所のエリア

行政

NPO

【第3層】

自治会・町会などを基礎としたエリア

社会福祉
協議会

自治会・町会
住宅管理組合

【第2層】

10のコミュニティエリア

民間事業者

民生委員・
児童委員

【第1層】

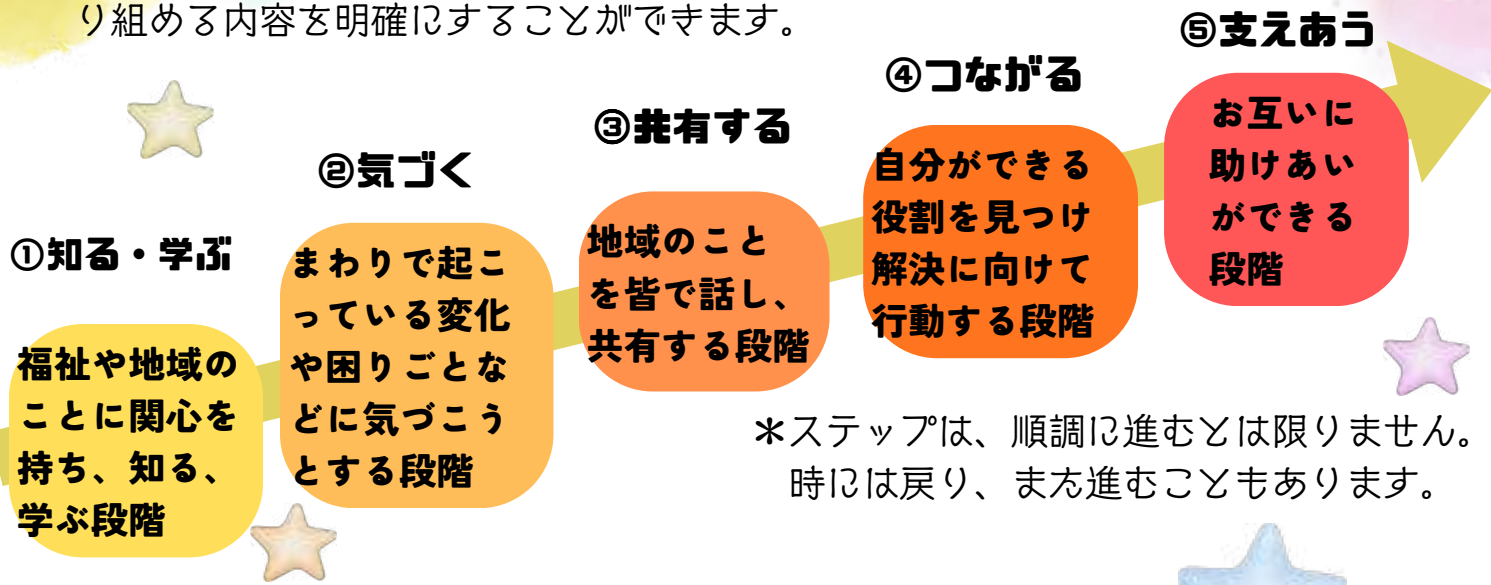
市全域のエリア

社会福祉施設

○みなさんと目指す「支えあえるまち」へのステップ

「福祉」への関心の度合いに合わせ、出来そうなことを出来る範囲で行える環境づくりをすることで、「支えあい」の第一歩が踏み出しやすくなります。まずは「知りあう」から、そしていつかは「つながり・支えあい」が持てる地域を目指していくことが大切です。

*段階的に進める「ステップ方式」により、取り組みへのきっかけを分かりやすくしました。個人や地域の現状を各ステップにあてはめることで、それぞれの立場で取り組める内容を明確にすることができます。



*ステップは、順調に進むとは限りません。時には戻り、また進むこともあります。

○マンガで見るステップ（例）

①テーマ：「あそこの家の人って」



②テーマ：「突然災害が・・・」



①基本理念

「つながり 支えあい 安心するまちづくり」

本計画は、「地域共生社会」の実現に向け、国、東京都、多摩市の施策の動向や、「地域の現状と課題」を踏まえ、多様性や地域の主体性を一層重視した計画となっています。基本理念として、「つながり 支えあい 安心するまちづくり」を掲げ、「3つの基本目標」と「6つの基本目標の具体像（6年後の目指す姿）」を示しました。後期計画では、前期3年間の社会情勢や計画の実施状況を踏まえながら、計画を見直し、取組みを行ってまいります。

③六つの基本目標の具体像

(6年後の目指す姿)

1
地域や福祉のことに
興味を持つ人や機会
が増えている



～身近な地域の福祉を知り、
学ぶ機会をつくります～

例：小中学校で実施「福祉体験学習」



～様々な団体・機関と連携しながら
課題に取り組みます～
例：高齢者あんしんサポート事業

2
身近に困りごとを相談
できる人や場が増えて
いる



～困りごとなどを、まわりの人と
共有し、伝える機会をつくります～

例：地域課題解決のワークショップ

6
生活課題がありながらも
地域で安心して暮らせる
人が増えている



②三つの基本目標

～市民の皆さんが親しみやすく・理解しやすい・取り組みやすいが”コンセプト”～

- 1, 「お互いを知り、気づき、理解し合う心が育まれている」
- 2, 「地域がつながり、人がつながる取り組みが広がっている」
- 3, 「地域で見守り・支えあいの輪が広がっている」

3

福祉や地域活動に参加する
きっかけや機会が増えている



～多くの方が地域活動に参加しやすい
きっかけづくりをします～

例：夏のボランティア体験



4

身近な地域で交流の場や
地域のことを一緒に考えて
いく場が広がっている



～地域活動を通して市民が集い、
交流できる場をつくります～

例：ふれあいいきいきサロン
(市内約100ヶ所)

5

地域でのつながりを活かし、
活動が充実している



～ネットワークを活かして
地域活動を推進します～

例：フードドライブ・
フードパントリー事業



企業・大学等の ネットワークを 活かした取組み

「子ども・若者 応援事業」



「子ども食堂」や「学習支援」など、不登校や生きづらさを抱えた子ども・若者も参加できる多様な体験機会等を提供しています。

NPO・大学生
(学習支援)との連携



「フード・日用品・ スタディドライブ」

ご家庭で提供できる食品や日用品、文房具などの「寄付」を募っています。

生活が困窮している方や世帯などにお渡ししています。



個人・商店・企業
等との連携・協力

誰もが 暮らせる

企業や団体・大学等の地域貢献活動

「食料無料 配布事業」

大学生以下の子どもがいる世帯・社会的つながりが持つことが難しい等、生きづらさを抱える概ね30歳までの方や世帯を支援しています。



企業・団体・大学
等との連携

「災害ボランティア センター」の設置・運営

多摩市で大規模災害が発生した時、復旧・復興や被災者の暮らしを支える活動を行います。

被災された方の声に寄り添いながら、ボランティアが担える活動をコーディネートします。

多摩市・民間セクター
等との連携・協力



★多摩市の福祉向上のため、地域・社会貢献活動を一緒に取り組んでいるネットワークです。

つながり、協力し、共に学び合いながら、支え合いの輪を広げています。 *多摩市社協が事務局を担っています。

*参加団体数は令和8年4月1日現在のものです。

多摩地域企業・大学等連絡会 (ゆるたまネット)

多摩市内を中心にボランティア活動や地域・社会貢献活動に取り組んでいる、あるいは取り組もうとしている企業や大学、団体等で構成されたネットワークです



参加団体：48団体

多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会

多摩市の社会福祉法人、及び多摩市内で福祉施設・事業所を経営する社会福祉法人が、地域のニーズや課題を受け止め連携・協働により地域公益事業等に取り組むネットワークです。



参加団体：21法人

「地域福祉推進委員会」

多摩市内を10のエリアに分け、自治会・管理組合、老人クラブや民生委員、地域包括支援センターなどの専門機関、大学・企業などが集まり、地域生活課題の解決に向け活動しています。



地域住民・団体・専門職・
企業・大学等との連携

地域の皆さんや
専門機関等との
ネットワークを
活かした取り組み

「地域福祉コーディネーター による伴走支援」

*地域福祉コーディネーターは多摩市社協の職員です。

10のエリアごとに配置され、「世代やジャンル」に関わらず「相談」や「居場所」・「支えあいの仕組み」づくり等を伴走支援しています。



多機関連携・協働
地域を横でつなぎます

安心して
まちを目指して

地域に支えあいの輪を広げます

「スペース葉」

「生きづらさ」を抱える方や、そのご家族を支援していくための居場所です。

日常から離れ「読みかけの本に葉を挟むように、人生にも立ち止まって一息つく時間」をコンセプトにしています。



多摩中央図書館・
ボランティア団体等との連携

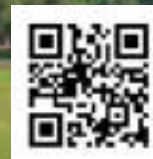
「SNSによる 情報発信」

多様な情報発信は、地域の多世代交流や魅力向上、新たな地域創生につながります。SNSの活用により、多世代をつなげ、未来に向けたまちづくりを目指します。

市民のみなさん・関係機関・
団体等、沢山のつながりを
つくりま



多摩市社協 Facebook 多摩市社協
Instagram



多摩ボラセン YouTube 多摩ボラセン
Instagram

★多摩市内10のコミュニティエリアごとに計画を策定しました ～エリア別小地域福祉活動計画～ 2026.4～2029.3

支えあいの心を育み、支えあいの輪が広がれば、「支えあえる」福祉コミュニティができると考えます。こうした支えあいの輪を広げていくために、エリアごとに地域性にあわせ、3年後の目標を検討し、どのような活動をしていくのか、方向性を示したものがエリア別小地域福祉活動計画です。

*多摩市社協ホームページ
地域福祉推進委員会のページから
各エリアの計画をご覧になれます

- ① 関戸・一ノ宮地区
- ② 連光寺・聖ヶ丘地区
- ③ 桜ヶ丘地区
- ④ 百草団地周辺地区
和田・東寺方・落川地区
- ⑤ 愛宕地区
- ⑥ 馬引沢・諏訪地区
- ⑦ 永山地区
- ⑧ 貝取・豊ヶ丘地区
- ⑨ 鶴牧・落合・南野地区
- ⑩ 唐木田・中沢・山王下等地区

二幸産業・NSP健幸福祉プラザ
(唐木田)



ヴァータ・コミュニーネ
(聖蹟桜ヶ丘)



多摩市10のコミュニティエリア



法人管理課



たまふくちゃん
多摩市社協の法人化
50周年記念キャラクター



タマポラ君
多摩ボラセン
マスコットキャラクター

地域福祉推進課

〒206-0032
多摩市南野3-15-1
二幸産業・NSP健幸福祉プラザ

〒206-0011
多摩市関戸4-7-2
ヴァータ・コミュニーネ7階

【7階】

□ 総務担当

☎ 042-373-5611

□ 権利擁護センター

☎ 042-373-5677

【3階】

□ センター係

☎ 042-373-0307

□ まちづくり推進担当

☎ 042-373-5616

□ 多摩ボランティア・ 市民活動支援センター

☎ 042-373-6611

発行・編集

社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会

〒206-0032 東京都多摩市南野3-15-1 二幸産業・NSP健幸福祉プラザ内
代表電話：042-373-5611 FAX：042-373-5612

<https://tama-shakyo.jp>

